



2024年04月 現在

Arcserve Backup 19 for Windows

Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option

本商品は、同一ネットワーク上のWindowsサーバおよび、クライアントのデータをバックアップ・リストアするソフトウェアです。

本商品とオプション商品を組み合わせることにより、Windows環境、Linux環境、物理環境、仮想化環境、アプリケーションのオンラインバックアップ、および、リストアを行うことができます。

本商品は、以下の後継商品です。

- ・ Arcserve Backup 18.0 for Windows
- ・ Arcserve Backup 18.0 for Windows Base with Disaster Recovery Option

また、Arcserve Backup 19 for Windows Disaster Recovery Optionをセットにした、以下の商品も提供しています。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option

- **Arcserveサービス/Arcserveマネージャ(サーバOS使用時)**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Arcserveマネージャ(クライアントOS使用時)**

FMV

- **Client Agent**

FMV

- **Arcserveサービス/Arcserveマネージャ(サーバOS使用時)**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **Arcserveマネージャ(クライアントOS使用時)**

Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

- **Client Agent**

Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

1. バックアップ・リストア

本製品では、以下を対象にファイル単位のバックアップ・リストアが可能です。

- ・ネットワークに接続されているローカルのWindowsサーバのファイル
- ・ネットワークに接続されているクライアント上のファイル

なお、Client Agent (別売オプション商品) を購入する必要はありません。

また、ReFSや、NTFS重複除去といった環境のデータのバックアップ・リストアも可能です。

2. スケジューリング機能

(1) 指定した時間、日、曜日にジョブの実行が可能です。

(2) メディアローテーション機能により、日、週、月サイクルの効率的なバックアップ計画が可能です。

3. ハードディスクやテープ装置へのデータ保護

データは別のハードディスク（仮想テープ）やテープ装置へバックアップします。

また、テープ装置の管理をグループ化することにより、以下の機能が使用できます。

(1) パラレルストリーミング

同一マシンに接続されている複数のデバイスで、バックアップ・リストアなどのジョブを並列処理することにより、処理時間の短縮が可能です。

(2) ドライブの自動スパン

1つのテープ媒体では処理が完了できないジョブは、同じグループ内の次のドライブに移って自動的に継続されます。

4. リモートサーババックアップ

以下のClient Agent (別売オプション商品) を使用することにより、同一ネットワーク上のWindowsサーバおよび、Linuxサーバのリモートバックアップが可能です。

(1) Arcserve Backup 19 Client Agent for Windows

リモートのWindowsサーバの効率的なバックアップ運用が可能です。(ユーザデータ、システム含む)

(2) Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux

Linux 用商品として提供しています。

リモートのLinuxサーバのバックアップ運用が可能です。

5. 仮想マシンのバックアップ/リストア

VMware環境やHyper-V環境といった仮想マシンのバックアップが可能となります。(別途、Virtual Machines Agent Bundleが必要です。)

(1) 仮想マシンのスナップショットと連携したバックアップ運用

vSphere環境やHyper-V環境では、それぞれのスナップショット機能 (VADP、VSS等) と連携し、ゲストOS単位のイメージバックアップや、そのバックアップデータから特定のファイルをリストアすることも可能です。

(2) ゲストOSのリモートバックアップ運用

ゲストOSに本製品をインストールすることで、物理マシンと同様な運用イメージでArcserve本体へのリモートバックアップ・リストア運用が可能です。

6. ハードディスクを活用した様々なバックアップ運用

(1) ファイルシステムデバイス (仮想テープ装置)

ハードディスクを仮想テープ装置として設定することで、データをバックアップ・リストアすることが可能です。

(2) D2D2T (Disk to Disk to Tape) への対応 : ディスクステージング機能

ファイルシステムデバイスに一時的にデータをバックアップし、テープにデータを移行（コピー）することで、低速なバックアップ装置へのバックアップに比べ、バックアップウィンドウを軽減します。（すべての環境において軽減されるとは限りません）

また、ファイルシステムデバイスにバックアップしたデータ消去前であれば、テープではなく、ファイルシステムデバイスから直接データをリストアすることも可能です。

なお、3ストリーム(注)以上のバックアップを同時に行うディスクステージング機能を使用する場合は、別途、Enterprise Moduleが必要です。

注：Arcserveでバックアップするセッションの数。詳細については、Enterprise Moduleの機能説明を参照ください。

(3) 重複排除による効率化（デデュプリケーション:De-Duplication）

ディスクへバックアップする際、バックアップデータの重複排除機能が追加されました。

これによって、ディスクベースのバックアップにおけるディスクリソースの有効活用が可能となります。

また、ディスクステージング機能との併用で、ディスクからテープへコピーする際は、全てのデータがコピーされ、安心です（重複排除ではない、通常のバックアップ単位）。

7. クラスタ環境の保護

Windowsサーバのフェールオーバークラスタがインストールされている環境での動作をサポートします。

8. データの暗号化

バックアップデータをメディアに書き込む際、以下の方法によるデータの暗号化を行い、セキュリティの強化を図ることができます。

- ・ Client Agent for Windows側でのデータ暗号化（AES256方式）
- ・ バックアップサーバ側（Arcserve本体）でのデータ暗号化（AES256方式）
- ・ 暗号化に対応したLT0ドライブによるハードウェアレベルでのデータ暗号化
- ・ 暗号化キーに対する、Arcserveデータベース内でのパスワード管理

9. アクセスコントロールと監査

ユーザに対して、限られたリソースアクセス許可を持つ役割を定義できます。

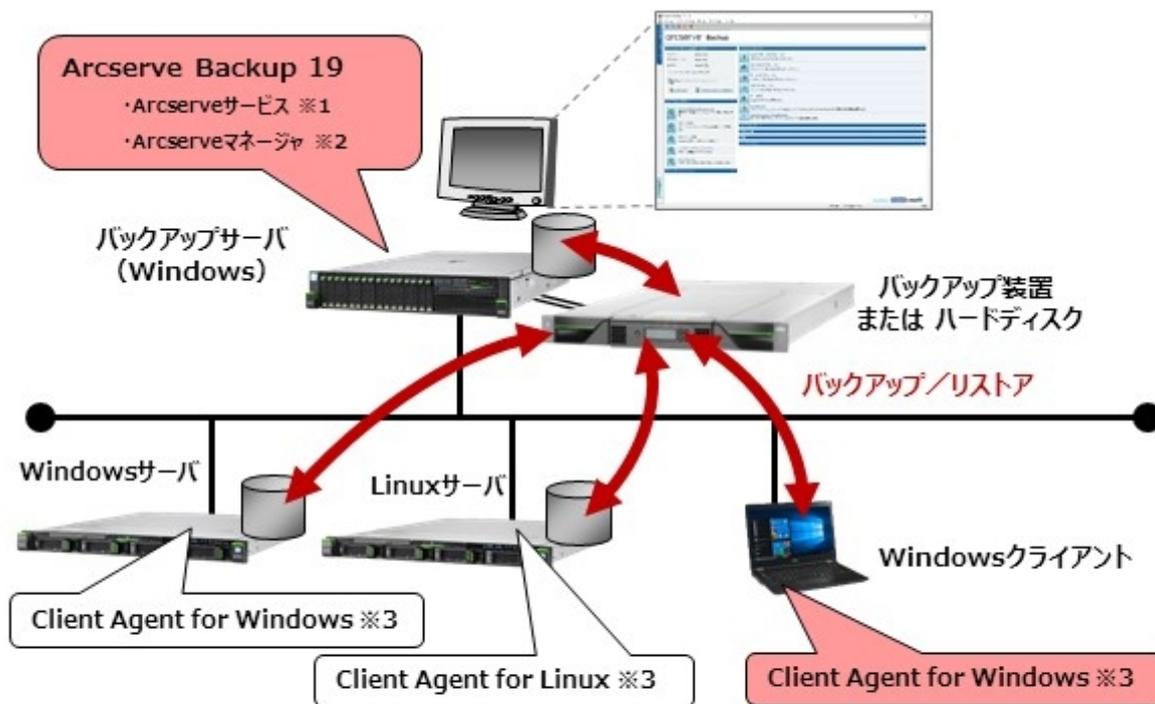
これにより、バックアップリソースにアクセスするユーザを制御することで、より強力で安全なバックアップ環境を提供します。

10. ETERNUSストレージの筐体内コピー機能と組み合わせたバックアップ/リストア

ファイル システムの種類にかかわらず、物理ディスクおよび物理ボリュームをバックアップおよびリストアできるようになりました。（rawパーティションバックアップ）

この機能とETERNUS AB/HB/AX/HX/DX/AFシリーズの筐体内コピー機能とを組み合わせることにより、筐体内コピーされた様々なボリュームのデータをバックアップすることが可能となります。

（別途 Enterprise Moduleが必要）



- ※1 : Arcserveサービスは、バックアップ装置が接続されているサーバでバックアップ・リストアを行うための機能です。
- ※2 : Arcserveマネージャは、バックアップ・リストアの管理を行います。
- ※3 : Client Agentは、ネットワーク上のマシンへインストールすることによりリモートバックアップ・リストアが可能です。

18.0 から 19の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Windows Server 2022 対応

Windows Server 2022 のバックアップ・リストアに対応しました。

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ Arcserve Backup for Windows リリースサマリ (PDF)
 - ・ Arcserve Backup for Windows 実装ガイド (PDF)
 - ・ Arcserve Backup for Windows 管理者ガイド (PDF)

サポートバンドル商品

メディアとライセンスの他、アップグレード権（5年間）とSupportDesk（5年間）がついております。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows（5年間サポート付）
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option（5年間サポート付）

サポート非バンドル商品

メディアとライセンスの他、アップグレード権（1年間）がついております。

富士通のサポートが必要な場合は、別途SupportDeskをご契約ください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option

1. サポートバンドル商品について

本商品には、5年間のSupportDeskをご利用いただく権利がバンドルされた「サポートバンドル商品」がございます。サポート期間は、富士通倉庫出荷日の5年後の同日を含む月末日となります。

富士通のサポートを必要とする場合は、本商品を購入ください。

(1) サポートの種類について

・Arcserve Backupのサポートバンドル商品には、「平日サポート」、「24時間サポート」の2種類があります。

詳細は「留意事項」 - 「サポートバンドル商品の内容について」を参照ください。

・商品購入後に「平日サポート」から「24時間サポート」商品への変更、もしくは、「24時間サポート」から

「平日サポート」商品への変更は行えません。ご注意ください。購入間違いの場合は、買い直していただく必要があります。

(2) サポートの契約について

・本商品にバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポート期間満了時に、サポートを継続するには、別途、SupportDesk契約の更新が必要です。バンドルサポート終了後のサポートを手配いただくようお願いいたします。

バンドル期間以降は月額サポートを必ず切れ間なく契約する必要があります。サポート開始日は、バンドル期間終了日の翌日に設定してください。

2. 商品の購入の考え方

(1) 「Arcserveサービス」は、バックアップ装置が接続されているサーバでバックアップ・リストアを行う為の基本機能です。バックアップ・リストアを行うサーバ毎に1本、購入してください。

(2) 「Arcserveマネージャ」は、バックアップ・リカバリの管理を行う機能です。インストールフリーで「Arcserveサービス」と別マシンでも運用可能です。また、複数マシンにインストールすることも可能です。

3. 同梱のClient Agentの購入方法

本商品に同梱されているWindows 10, Windows 8.1用のClient Agentは、インストールフリーです。

(システムのバックアップはサポートしません)

4. 同梱製品について

本商品に同梱されている他のArcserve商品は、30日間限定のトライアル版です。正式に導入する場合は、各商品を購入してください。

1. Windowsサーバのリモートバックアップ/リストア

Windowsサーバ環境をリモートバックアップ/リストアする場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 Client Agent for Windows

2. Windows オープンファイルのバックアップ

Windowsのシステムやアプリケーションによって使用されているファイルをバックアップする場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files

3. Linuxサーバのリモートバックアップ/リストア

Linuxサーバ環境をリモートバックアップ/リストアする場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux

なお、上記商品はLinux商品として提供しています。

4. アプリケーションのオンラインバックアップ

アプリケーションのオンラインバックアップを行う場合は、アプリケーションに合わせて、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Oracle
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Microsoft SQL
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Microsoft Exchange
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Microsoft SharePoint

5. 仮想化環境のバックアップ/リストア

仮想化環境のゲストOSをバックアップ/リストアする場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License

6. 本製品の機能拡張

イメージバックアップや、ETERNUS AB/HB/AX/HX/DX/AFシリーズの筐体内コピー機能と組み合わせたバックアップ/リストアを行う場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Enterprise Module

7. 惨事復旧

Windowsサーバに障害が発生した際、OSやアプリケーションをインストールせず、ダウンしたサーバを迅速かつ容易に復旧したい場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Disaster Recovery Option

なお、本オプション製品がセットとなった製品も提供しております。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option

8. テープライブラリ装置を使ったバックアップ/リストア

2ドライブ以上を内蔵したテープライブラリ装置を使ったバックアップ/リストアを行う場合は、以下の商品を使用してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Tape Library Option

また、SAN(ストレージエリアネットワーク)に接続されたテープライブラリ装置を、複数のサーバで共有する場合は、以下の商品を使用してください。

- Arcserve Backup 19 for Windows SAN Option
 - Arcserve Backup 19 for Windows SAN Secondary Server Bundle
 - Arcserve Backup 19 for Windows Central Management Option
-

9. ETERNUS AX/HX/NR1000 series 内のデータバックアップ

NDMPコマンドを使用し、ETERNUS AX/HX/NR1000 series 内のデータをバックアップする場合は、以下の商品を使用してください。

- Arcserve Backup 19 for Windows NDMP NAS Option
-

10. Arcserveサーバの一元管理

複数のArcserveサーバを一元管理する場合には、以下の商品を使用してください。

- Arcserve Backup 19 for Windows Central Management Option

1. バックアップ装置

最新の対応状況については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Arcserve Backup)」から、「動作環境」 - 「バックアップ装置対応表」を参照ください。

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品のマネージャ機能は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

なお、Client Agent機能は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)

3. 動作要件について

本商品の動作要件は、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Arcserve Backup)」から、「動作環境」を参照ください。

4. アップグレード権について

本商品には、アップグレード権が含まれています（納品日より1年間または5年間有効）。

アップグレード権の有効期間中に新バージョンがリリースされた場合、最新のソフトウェアを入手頂くことができます。

なお、本商品のアップグレード権証書は、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

5. 本商品と最新のパッチモジュールについて

本商品は、Arcserve社ではArcserve Backup 19.0商品にあたります。

本商品を使用する際、「関連URL」の「Arcserve社（技術情報）」のWebサイト内の「Arcserve Backup Patch Index」より、最新のパッチモジュールをダウンロードし、本商品をインストール後に適用することを推奨します。

6. インストールについて

本商品は、DVDで提供されます。インストールにはDVD-ROMユニットが必要です。

本商品とPRIMERGYを同時手配する場合には、DVD-ROMユニット搭載の有無をご確認の上、必要に応じて手配してください。

なお、既にお持ちのPRIMERGYにDVDで提供される機能のインストールを行う場合には、Windowsのファイル共有を利用したネットワークインストールが可能です。（ただし、ローカルのDVD-ROMユニットと比べて作業時間を要します。）

7. 最新の注意/制限事項について

本商品における最新の注意/制限事項については、「関連URL」の「Arcserve 社（技術情報）」のWebサイトを参照ください。

8. ライセンス登録について

本商品に同梱されている「アップグレード権証書」には、商品のライセンス登録に必要な情報が記載されています。ライセンス登録の詳細は、「関連URL」の「Arcserve 社（ライセンスキー登録）」のWebサイトで掲載されている、ライセンスキーの登録に関するドキュメントを参照ください。

また、これらの情報およびパッケージは、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

9. Arcserveデータベースについて

有償版Microsoft SQL ServerをArcserveデータベースとして使用する場合、Microsoft SQL Serverはコアライセンスモデルを手配してください。

なお、サーバライセンスモデル（CAL）を手配する場合は、バックアップ対象となるマシン台数分のCALが必要となります。

10. Arcserveのログ情報の採取方法について

Arcserve関連のログ情報を採取する場合は、「診断ユーティリティ」を使用してください。

11. Client Agent for Windowsの自動インストールについて

本商品をインストールする際、Client Agent for Windowsも自動インストールされます。インストールのチェックを外さず必ずインストールしてください。

なお、本Client Agentのライセンス登録は必要ありません。

12. アカウント登録について運用時の留意事項

バックアップ、リストアなどの処理対象マシンには、管理者によるアカウント登録が必要です。

13. 合成フルバックアップについて

合成フルバックアップの機能を使用される場合は、同等の機能を提供するArcserve UDP 製品を使用したバックアップ運用をご検討ください。

14. システムのバックアップおよびシステム復旧について

(1) 運用上停止できないサービスやアプリケーションがある環境のシステムバックアップを行う場合は、使用中のシステムファイルを確実にバックアップできるよう、以下の商品を購入してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files

(2) システム復旧では以下の商品を使用した復旧を推奨します。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Disaster Recovery Option

なお、上記商品をセットにした、以下の商品も提供しています。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option

15. クライアントOSのバックアップについて

Client Agentを使ったクライアントOSのバックアップ対象は、ユーザデータのみです。（システムは除く）

16. Windows環境での注意事項

(1) 本商品は、以下の機能には対応していません。

- ・ Server Core
- ・ IPv6

(2) 以下の機能のバックアップ/リストアを行う場合は、OSのVSS機能によりそれぞれのVSSライタを使用します。

- Active Directory Application Mode

上記のデータのバックアップは、以下の商品を別途、購入し、VSSライタよりバックアップしてください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files

17. Windows Server 2012以降の環境での注意事項

(1) Windows Server 2012以降の環境において、以下のバックアップは対応していません。

- ・ 記憶域スペースに作成された仮想ボリューム/ディスクを構成する物理ボリューム/ディスク
- ・ 比較オプションを有効にした NTFS重複除去ボリュームのバックアップ

(2) Windows Server 2012およびWindows Server 2012 R2環境において、以下のバックアップ/リストアは対応していません。

- ・ バックアップサーバ自身のバックアップ/リストア
- ・ NTFS重複除去のバックアップデータを他のOSバージョンへリストア
- ・ ReFSファイルの整合性ストリームのNTFSリストア
- ・ バックアップ元と異なるリモート共有へのアプリケーションライタのリストア

18. 読み取り専用ドメインコントローラ (RODC)環境での注意事項

読み取り専用ドメインコントローラ (RODC) の環境に本商品をインストールする場合、Arcserveデータベースをローカルにインストールすることができません。

以下のいずれかの運用を行ってください。

- ・ スタンドアロンサーバとしてインストールし、ARCserveデータベースは、SQL Server (Express Editionを除く) が導入されている別のマシンにインストールする。
- ・ Arcserveドメインのメンバーサーバとして本商品をインストールする

なお、RODC 環境のバックアップ対象はユーザデータのみです。(システムは除く)

19. アーカイブ機能の注意事項

アーカイブの対象にアプリケーションの構成情報やシステム運用上必要なファイル等、容易に削除されるべきではないファイルが含まれる場合は、本機能は使用しないで下さい。

20. クラウドのオブジェクトストレージへのデータ退避について

バックアップ先やアーカイブ先として以下のクラウドが提供するオブジェクトストレージへのバックアップをサポートします。

- ・ FUJITSU Hybrid IT Service for AWS

21. VMware, Hyper-V, Linux仮想マシン機能(KVM) 仮想環境上へのAgent導入について

(1) 仮想環境上への導入は、以下の全ての条件に合致する環境に限りサポートします。

- 仮想マシンのOSが、Arcserve Backupが物理環境でサポートしているOS
- バックアップ先は、仮想マシンが認識するハードディスク

なお、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。

また、ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。

(2) 本商品をインストールした仮想マシン上のオープンファイルをバックアップする場合は、別途以下の商品を購入してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files

(3) Arcserve Backup 19 for Windows Base with Disaster Recovery Option に含まれる、Disaster Recovery Optionの機能は、仮想マシン上での動作をサポートしません。

(4) VMwareが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- VMware vSphere vMotionにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
 - VMware vSphere High Availabilityにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
 - VMware vCenter Site Recovery Managerで本商品を使用する場合は、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本商品を導入してください。
- (5) Hyper-Vが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。
- ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
 - クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
 - フェールオーバーにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- (6) KVMが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。
- ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。

22. FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 / FJcloud-V / for Microsoft Azure / for AWS の仮想マシン上への導入について

- (1) 仮想環境上への導入は、以下の全ての条件に合致する環境に限りサポートします。
- 仮想マシンのOSが、Arcserve Backupが物理環境でサポートしているOS
 - バックアップ先は、仮想マシンが認識するハードディスク

なお、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。

また、ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。

(2) 本商品をインストールした仮想マシン上のオープンファイルをバックアップする場合は、別途以下の商品を購入してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files

(3) 仮想マシンへのシステム復旧はサポートしません (Disaster Recovery Optionによる復旧も含む)。

23. マルチベンダーサーバおよびパブリッククラウドのサポートについて

本商品では、富士通SupportDeskで他社機での動作をサポートいたします。

なお、サポートには条件があります。

サポート条件の詳細は、「関連URL」の「FUJITSU Software (Arcserve Backup)」内の「サービス&サポート」を参照してください。

24. Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入について

Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入は、サポートしません。

25. Citrix XenApp利用時の留意事項

Citrix XenApp環境のシステムデータのフルバックアップ/フルリストアによる上書きリストアは行えません。

システム全体の復旧を行う場合は、以下の製品を使用して復旧してください。

- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Disaster Recovery Option

26. サポートバンドル商品の内容について

(1) サポートの内容

サポートバンドル商品には、富士通が提供するSupportDeskサービスである「平日サポート」「24時間サポート」の2種類があります。サービス時間帯は以下の通りです。

- ・ 平日サポート：月曜日～金曜日 8:30～19:00(祝日および12月30日～1月3日までは除く)
- ・ 24時間サポート：24時間365日

(2) サポートサービスの期間

Arcserve商品に関するサポート期間は、Arcserve社に準じたサポート期間となります。このため、本商品のサポートサービス期間中にArcserve社がサポート終了した場合は、アップグレード権を行使し最新バージョンへアップグレード頂くご対応をお願いする場合があります。

なお、Arcserve社のサポート終了日から1年間は、富士通独自のサポートサービスとして、富士通内部のナレッジに基づく既存事例の検索による既存修正の提供、または回避策の提示による問題解決支援を行います。

27. 旧バージョン(18.0)との違い

本商品より、以下の環境での動作には対応していません。

- Windows Server 2012(64-bit)
- Windows Server 2012R2(64-bit)
- Windows Server 2008
- Windows Server 2008(64-bit)
- Windows Server 2012R2(64-bit)
- Windows 7(64-bit)
- Windows 7

本商品より、以下のクラウドが提供するオブジェクトストレージへのバックアップはサポートしていません。

- FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure (ストレージアカウントは「Storage(汎用 v1)」)

お客様向けURL

- **FUJITSU Software (Arcserve Backup)**
本商品の詳細情報を記載しています。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/backup/>
- **Arcserve社 (製品情報)**
本商品の詳細情報を記載しています。
<https://www.arcserve.com/jp/arcserve-tape-backup-software>
- **Arcserve社 (技術情報)**
本商品の技術情報および、最新の注意/制限事項を記載しています。
<https://support.arcserve.com/s/topic/0T01J00000013phWAC/arcserve-backup?language=ja>
- **Arcserve社 (ライセンスキー登録)**
Arcserve商品のライセンスキーの登録について記載しています。
<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/licensing/>